

平成26年12月期 決算短信[米国基準](連結)

上場会社名 キヤノン株式会社

平成27年1月28日

上場取引所 東名札福

コード番号 7751 URL http://www.canon.co.jp/ir/ 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 CEO

問合せ先責任者(役職名)連結経理部長 定時株主総会開催予定日 平成27年3月27日

有価証券報告書提出予定日 平成27年3月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有 決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 御手洗 冨士夫 (氏名) 青 山 伸

配当支払開始予定日

TEL 03-3758-2111

平成27年3月30日

(百万円未満四捨五入)

(%表示は対前期増減率)

1. 平成26年12月期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績

当社株主に帰属する 売上高 営業利益 税引前当期純利益 当期純利益 百万円 百万円 百万円 百万円 △0.1 26年12月期 3,727,252 363,489 7.8 383,239 10.3 254,797 10.5 25年12月期 337,277 4.1 347,604 1.5 230,483 2.6 3,731,380 7.2

26年12月期 373,417百万円 (△29.9%) 25年12月期 532,429百万円 (51.4%) (注)当期包括利益

	1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	希薄化後1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	株主資本 当社株主に帰属する 当期純利益率	総資産税引前 当期純利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年12月期	229.03	229.03	8.7	8.8	9.8
25年12月期	200.78	200.78	8.4	8.5	9.0

(参考) 持分法投資損益 26年12月期 478百万円 25年12月期 △664百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	総資産 資本合計(純資産) 株主		株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	百万円	%	円銭	
26年12月期		3,140,758	2,978,184	66.8	2,727.69	
25年12月期	4,242,710	3,066,777	2,910,262	68.6	2,559.60	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年12月期	583,927	△269,298	△300,886	844,580
25年12月期	507,642	△250,212	△222,181	788,909

2. 配当の状況

2. 48 49 100	年間配当金							株主資本配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	(連結)
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
25年12月期	_	65.00	_	65.00	130.00	148,837	64.6	5.4
26年12月期	_	65.00	_	85.00	150.00	164,691	64.6	5.6
27年12月期(予想)	_	_	_	_	_		_	

(注)平成27年12月期の1株当たり配当金については未定です。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日~平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
第2四半期(累計)	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
通期	3,900,000	4.6	380,000	4.5	390,000	1.8	260,000	2.0	238.13	

(注)第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

26年12月期	1,333,763,464 株	25年12月期	1,333,763,464 株
26年12月期	241,931,637 株	25年12月期	196,764,060 株
26年12月期	1.112.509.931 株	25年12月期	1.147.933.835 株

(参考)個別業績の概要

平成26年12月期の個別業績(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期	2,084,200	△3.2	204,937	△3.5	249,348	5.3	175,471	3.0
25年12月期	2,152,743	1.1	212,436	△1.2	236,695	0.4	170,383	8.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円銭	円銭
26年12月期	157.72	157.72
25年12月期	148.43	148.43

(注)従来、営業外収益に計上していた特許権収入について、当年度より売上高に含めて計上する事としたため、当該変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期	2,315,680	1,447,322	62.4	1,324.17
25年12月期	2,385,892	1,567,030	65.6	1,376.11

(参考) 自己資本 26年12月期 1,445,769百万円 25年12月期 1,564,642百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる仮定等については、6ページ「1. 経営成績及び財政状態(5)次期の見通し」をご覧下さい。

目次

	連結決算概要	3
1.	経営成績及び財政状態	4
	(1) 当期の概況	4
	(2) 事業の種類別セグメントの状況	5
	(3) キャッシュ・フローの状況	5
	(4) 単独決算の状況	6
	(5) 次期の見通し	6
	(6) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	6
2.	企業集団の状況	7
3.	経営方針	7
	(1)経営の基本方針	7
	(2)経営目標	
	(3) 対処すべき課題	
4.	連結財務諸表	9
	(1) 連結貸借対照表	9
	(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	
	連結損益計算書	
	【第4四半期連結会計期間】	
	【第4四半期連結累計期間】	
	連結包括利益計算書	. 11
	【第4四半期連結会計期間】	. 11
	【第4四半期連結累計期間】	. 11
	(3)連結売上高明細表	. 12
	【第4四半期連結会計期間】	. 12
	【第4四半期連結累計期間】	. 12
	(4)連結資本勘定計算書	. 13
	(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	. 14
	(6)継続企業の前提に関する注記	. 15
	(7) セグメント情報	. 15
	① 事業の種類別セグメント情報	. 15
	【第4四半期連結会計期間】	. 15
	【第4四半期連結累計期間】	. 16
	② 所在地別セグメント情報	. 17
	【第4四半期連結会計期間】	
	【第4四半期連結累計期間】	
	(8) 連結財務諸表作成の基本となる重要な事項	
	① 連結範囲及び持分法の適用に関する事項	
	② 主要な会計方針	. 19

(9)	連結財務諸表に関する注記事項	19
1	1株当たり情報	19
2	リース取引、税効果会計、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、	
	ストックオプション、企業結合等	19
3	重要な後発事象	19
5. 個別	川財務諸表	20
(1)	貸借対照表	20
(2)	損益計算書	21
(3)	株主資本等変動計算書	22
(4)	継続企業の前提に関する注記	23
役員の異	人動	24
執行役員	負の異動	25
決算補足	2資料(連結)	



2015年1月28日キヤノン株式会社

2014年 12月期 決算概要



本日開催の取締役会におきまして、当社の2014年12月期(2014年1月1日から2014年12月31日まで)の連結及び単独決算を承認いたしましたので、ご報告いたします。

1. 連結決算業績

				2013年12月期	2014年12月期	坩	曽減率
	上 業 前 当 ∮ 株 主 に 期	利 期 純 利 帰 属 す 利	高益益る益	百万円 3,731,380 337,277 347,604 230,483	百万円 3,727,252 363,489 383,239 254,797	△ + +	% 0. 1 7. 8 10. 3 10. 5
1株当た 当期純利	り 当社株主! 益:	に帰属する		円	円		%
基		z.	的	200. 78	229. 03	+	14. 1
希	薄	化	後	200. 78	229. 03	+	14. 1
総	資		産	百万円 4, 242, 710	百万円 4 , 460, 618	+	% 5. 1
株	主	資	本	百万円 2,910,262	百万円 2, 978, 184	+	% 2. 3

2015年12月期 年間予想	増減率
百万円 3,900,000 380,000 390,000 260,000	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
円 238. 13 一	% + 4.0 -
	_
_	_

2. 単独決算業績

					2013年12月期	2014年12月期	埠	自減率
					百万円	百万円		%
売		上		高	2, 152, 743	2, 084, 200	\triangle	3.2
営	業		利	益	212, 436	204, 937	\triangle	3.5
経	常		利	益	236, 695	249, 348	+	5.3
当	期	純	利	益	170, 383	175, 471	+	3.0
					円	円		%
1	株当た	り当	期 純	利益	148. 43	157. 72	+	6.3
潜 1	在 株 当 た	式 り 当	調射純	整 後 利益	148. 43	157. 72	+	6.3
1	株当た	り年	間配	当 金	130. 00	150. 00	+	15.4
		\/ 		-	百万円	百万円		%
総		資		産	2, 385, 892	2, 315, 680	\triangle	2.9
\shit.		次		<u> </u>	百万円	百万円	_	%
純		資		産	1, 567, 030	1, 447, 322	Δ	7.6

⁽注) 当社の連結財務諸表は、米国会計基準に基づき作成しております。

1. 経営成績及び財政状態

(1) 当期の概況

2014 年 12 月期の世界経済を振り返りますと、当初は米国など先進国が中心となって本格的に成長路線へ回帰するものと予想していましたが、ロシア・ウクライナ紛争など、予期せぬ事態が続き、予想には届かない結果となりました。米国は、年初は大寒波の影響を受けましたが、雇用環境が改善し、個人消費が底堅く推移するなど、着実な回復が見られました。欧州では、ロシア経済の悪化が隣接するユーロ圏諸国経済に影響を与えるなど、景気低迷が長期化しました。中国では、景気拡大のテンポが緩やかなものになり、東南アジアや南米などでは、経済停滞などにより成長が鈍化しました。我が国の経済は、消費税増税の駆け込み需要の反動減が解消されず、昨年の成長に届かない水準で推移しました。

このような状況の中、当社関連市場につきましては、オフィス向け複合機やレーザープリンターの需要は堅調に推移しました。レンズ交換式デジタルカメラの需要は、経済停滞により減速し、厳しい状況が続きました。コンパクトデジタルカメラの需要は、先進国・新興国ともに縮小しました。また、インクジェットプリンターの需要は、アジアや欧州を中心とした景気低迷により前年の水準をやや下回りました。産業機器の市場では、半導体露光装置の需要は、メモリ向け・イメージセンサ向け共に好調に推移し、FPD 露光装置の需要は、大型パネル向け投資が好調に推移しました。

平均為替レートにつきましては、米ドルが前期比で約8円円安の106.18円、ユーロは前期比で約11円円安の140.62円となりました。

当期は、オフィス向け複合機やレーザープリンターが堅調に推移し、産業機器が大きく売上を伸ばしました。一方、レンズ交換式デジタルカメラやコンパクトデジタルカメラは市場が減少する中、期待していた年末商戦が想定ほど伸びず売上は減少しました。為替による好転影響もありましたが、売上高は前期比 0.1%減の 3 兆 7,273 億円となりました。売上総利益率は、継続的なコストダウン活動と円安の影響により、前期比 1.7 ポイント好転し 49.9%となりました。営業費用は、円安のため外貨建ての営業費用が円換算後で増加しましたが、グループを挙げて徹底した経費削減活動を行ったことにより、前期比 2.5%増の 1 兆 4,980 億円に抑え、営業利益は前期比 7.8%増の 3,635 億円となりました。営業外収益及び費用が為替差益等により前期比で 94 億円好転したため、税引前当期純利益は前期比 10.3%増の 3,832 億円、当社株主に帰属する当期純利益は前期比 10.5%増の 2,548 億円となり、売上はわずかながら減収となったものの増益を達成することができました。

基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ28円25銭増の229円03銭となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの状況

当期の業績をビジネスユニット別に概観しますと、オフィスビジネスユニットでは、オフィス向け複合機は、imageRUNNER ADVANCE シリーズ初の A4 カラー機 C350/C250 シリーズや imagePRESS シリーズ初のライトプロダクション市場向けカラー機 C800/C700 が好評を博すとともに、従来から好評の A3 機 imageRUNNER ADVANCE C5200 シリーズが堅調に推移しました。業務用高速・連帳プリンターは、オセ社が製造する 0cé ColorStream 3000 シリーズの販売が昨年に続き好調に推移しました。レーザープリンターについては、カラー機や複合機の販売が堅調に推移したものの、モノクロ機の販売が欧州など景気停滞の長引いている地域で伸び悩み、全体では販売台数は前年をやや下回りました。これらの結果、当ユニットの売上高は、為替のプラス影響もあり、前期比 3.9%増の2兆787億円となり、営業利益は前期比9.4%増の2,921億円となりました。

イメージングシステムビジネスユニットでは、レンズ交換式デジタルカメラは、我が国の消費税増税後の消費の冷え込みや欧州などの景気の悪化により需要が落ち込み、販売台数は前年を下回りましたが、ハイアマチュア向けの新製品EOS 7D Mark II等の販売が好調に推移し、世界販売台数シェアNo. 1を堅持しました。コンパクトデジタルカメラについては、景気低迷やスマートフォンの普及拡大等の影響により市場が縮小する中、全体の販売台数は減少していますが、新製品PowerShot G7 XやPowerShot SX60 HS/SX700 HS等の画質やズーム性能に優れた高付加価値製品の販売が好調に推移し、採算性が向上しました。インクジェットプリンターは、年末商戦で新製品投入と地域特性に応じた拡販に努めた結果、第4四半期では販売台数が前年を上回ったものの、年間では、アジアや欧州を中心に景気低迷が継続し、年間の販売台数は前年を下回りました。消耗品の売上は、これまでの本体の市場稼働台数の積み上げに伴い、堅調に推移しました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前期比7.3%減の1兆3,432億円となり、営業利益は前期比4.5%減の1,946億円となりました。

産業機器その他ビジネスユニットでは、半導体露光装置は、昨年下期から回復した顧客の設備投資が継続する中、当社でもメモリ向けやイメージセンサ向けの露光装置が好調に推移したことにより、販売台数は前年を上回りました。FPD露光装置についても、市場の高精細化ニーズが高まる中、昨年下期に投入した大型パネル向けに加え、中小型パネル向けの高精細機も計画通り売上を計上したことにより、販売台数は前年を上回り、販売台数シェアを伸ばしました。医療機器については、ワイヤレス静止画センサーや動画センサー等のデジタルラジオグラフィの新製品が好調で、売上が伸長しました。これらの結果、当ユニットの売上高は前期比6.4%増の3,988億円となりました。営業利益は前期から改善はしたものの、次世代技術への開発費などの先行投資を行ったため、218億円の赤字となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当期の営業キャッシュ・フローは、利益水準が回復したことや、運転資金の改善により、前期比で 763 億円増加し、5,839 億円の収入となりました。投資キャッシュ・フローは、設備投資を新製品対応目的に絞り込みましたが、ネットワークカメラ事業の強化を目的としたマイルストーンシステムズ社など複数社を買収したことから、前期から 191 億円増加し 2,693 億円の支出となりました。この結果、フリーキャッシュ・フローは、前期比で 572 億円増加し、3,146 億円の黒字となりました。

一方、財務キャッシュ・フローは、配当支払いや自己株式購入などにより、3,009 億円の支出となりました。

これらの結果、当期末の現金及び現金同等物は、為替変動の好転分を合わせて、前期末から 557 億円増加して 8,446 億円となりました。

(4) 単独決算の状況

単独決算では、当期の売上高は前期から 3.2%減少し2兆 842 億円となり、経常利益は前期比 5.3%増の2,493 億円、当期純利益は同3.0%増の1,755 億円となりました。

(5)次期の見通し

次期の世界経済は、米国では、雇用の改善が進み個人消費も上向いて来ており、堅調に推移するものと見込まれます。欧州経済は、ロシア経済の大幅な減速やEU加盟国の財政問題の再燃などの不安要因が残り、引き続き低い成長に留まるものと思われます。中国は、高度経済成長期から徐々に安定成長期に移行するものと思われます。我が国では雇用環境が改善し、徐々に個人消費が持ち直す見通しです。世界経済全体としては、地域には差があるものの、下期にかけて徐々に加速し安定成長に向かっていく見通しです。

当社関連市場においては、オフィス向け複合機の需要はカラー機を中心に緩やかな成長が続くと見込まれ、レーザープリンターの需要についてもほぼ当期並みの成長率で推移する見通しです。コンパクトデジタルカメラの需要は、低価格モデルを中心に引き続き縮小が続きますが、レンズ交換式デジタルカメラの需要は、徐々に回復していく見通しです。インクジェットプリンターの需要は、低迷が続いたアジア地域の市況が徐々に回復傾向にあることから、ほぼ横ばいで推移する見通しです。また、産業機器市場では、半導体露光装置は、メモリやイメージセンサの需要増を受け、引き続き顧客の設備投資が継続することで、ほぼ当期並みに推移するものと見込んでおります。FPD 露光装置は、4K テレビやモバイル機器向けのパネル需要の拡大により顧客の設備投資の増加が見込まれることから、拡大する見通しです。

業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、前期からの円安基調を織り込み、米ドルは前期比で約 14 円円安の 120 円、ユーロは前期比で約 6 円円高の 135 円を想定しております。通期の連結業績見通しは、この為替レートを前提として直近の経済見通しなどを加味し、売上高 3 兆 9,000 億円(前期比 4.6%増)、営業利益 3,800 億円(前期比 4.5%増)、税引前当期純利益 3,900 億円(前期比 1.8%増)及び当社株主に帰属する当期純利益 2,600 億円(前期比 2.0%増)としております。

(6) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、中期的な利益見通しに加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、配当を中心に、安定的かつ積極的な利益還元に取り組むことを基本方針としております。

当期は、世界経済の低迷長期化など経営環境は依然として厳しい状況にありますが、収益性やキャッシュ・フロー重視の経営により製品力や財務体質の強化を図ることで、潤沢な手元資金を創出することができました。このような状況に鑑み、安定的かつ積極的な株主還元を実現するため、当期の年間配当金につきましては、前期より20円増配となる150円(中間配当金は支払済みの65円、期末配当金は85円)を予定しております。

2. 企業集団の状況

最近の有価証券報告書(2014年3月28日提出)における「事業系統図(事業の内容)」及び「関係会社の状況」から重要な変更がないため、開示を省略しております。なお、連結子会社数、持分法適用関連会社数などについては19ページ「連結範囲及び持分法の適用に関する事項」に記載しております。

3. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社は、「共生」を企業理念として、真のグローバル優良企業グループを目指し、企業の成長と発展を果たすことにより、世界の繁栄と人類の幸福に貢献することを、経営の基本方針としております。

(2) 経営目標

この基本方針に基づき当社は、1996年度にグローバル優良企業グループ構想を掲げ、15年に亘る3つのフェーズを通して経営基盤の強化に努めてまいりました。2011年度にスタートしたフェーズ IV では、高い収益性を維持しながら企業規模の一層の拡大を計る「健全なる事業拡大」を経営目標といたしました。

このフェーズ IV の4年間を振り返ると、東日本大震災に始まり、超円高、欧州の財政危機、ロシア・ウクライナ紛争など予期せぬ事態が発生し、当社の経営環境は、絶えず変化を繰り返す大変厳しいものとなっております。そのような中にあって、当社は、この変化を大きなチャンスととらえ、時代の変化に先んじて自らをスピーディーに変革することによって「健全なる事業拡大」を実現し、課題を克服し、確実な成長軌道へと回帰することを目指しております。

このフェーズの最終年となる 2015 年度は、全社一丸となって業績向上に取り組み、フェーズ IV を完結するとともに、将来の更なる発展に向け強固な礎を築きあげてまいります。

(3) 対処すべき課題

今後の世界経済の動向につきましては、しばらく厳しい状況が続く国や地域がある一方、先進国では米国が、新興国ではインドや ASEAN 諸国が堅調に推移すると予想され、全体で見れば、徐々に安定成長に向かっていくものと見込まれます。

そのような中、「グローバル優良企業グループ構想フェーズ IV」の最終年であり、その成果の集大成である「Canon EXPO」の開催年に当たる 2015 年度は、再び成長軌道へ回帰するとともに、来期からの飛躍に備えて堅固な土台を作り上げることで「フェーズIV」を締め括るべく、以下のとおり様々な施策に取り組んでまいります。

1. 革新的な製品・サービスの投入による現行事業の再強化

複合機などのオフィス製品では、ハード面の更なる強化に加え、ワンストップで幅広く高品質のサービスを提供できる体制の整備を推し進め、カメラでは、画質、表現力、操作性などを徹底的に磨き上げるとともに、ネットワーク対応を一層強化します。また、個人ユースのプリンターから産業印刷まで幅広くラインアップを揃える強みを活かしてプリンティング総合企業 No.1 を目指します。産業機器分野では、当社グループ各社の技術力を結集し競争力を強化すべく具体的計画を策定し、実行してまいります。

2. 新規事業・将来事業の拡大と未来を切り拓く技術の深耕

更なる微細化を実現するナノインプリント技術の強化により、次世代半導体露光装置の量産を目指します。また、ネットワークカメラシステム事業については製品ラインアップの拡充を図り、顧客ニーズに応えるソリューションを作り込みます。MR システムについては、強みを活かせる業界を見極め、その業界の設計ツールのデファクトスタンダードとなるべく注力してまいります。更に医療分野では、血管の状態を 3D で表示する光超音波トモグラフィーなど将来有望なテーマに注力し開発を加速いたします。その他、高度な3次元認識を実現し生産現場での活用が期待されるスーパーマシンビジョンや 4K 高精細業務用ディスプレイなど、B to B 分野を中心に、新しい事業の着実な育成、拡大を図ってまいります。

3. 事業・販売会社が一体となった全世界販売力の強化

先進国においては、コンシューマ分野で、インターネット通信販売の普及など多様化する販売チャネルに対応するとともに、オフィス分野で、グローバル企業によるオフィス製品の集中調達への対応を強化し、それぞれシェア拡大を目指します。新興国においては、各国・地域の状況に合わせた多様な販売網と製品ラインアップの拡充を進めます。

4. 新次元のコストダウン活動の加速

調達では、総原価の低減を目指すべく、製品の開発段階からコストダウンに取り組む活動を 更に展開してまいります。試作プロセスでは、シミュレーション領域の拡大や 3D プリンター の活用により、新時代の開発手法を作り上げます。生産では、自動化の領域を拡大するとと もに、モールド部品や生産装置などの内製化に取り組み、更なるコストダウンを実現します。

5. 世界最適生産体制の構築

自動化や内製化などを強力に推進し、新次元のコストダウン構造を構築しつつ、生産の国内 回帰を図ります。また、米欧では自動機を活用した消費地生産を進めるなど、最適な生産体 制の維持に努めます。

上記のほか、顧客評価 No. 1 に向けた品質改革の更なる推進、情報セキュリティの強化、人材の育成などの改革を断行してまいります。

4. 連結財務諸表

(1)連結貸借対照表

	科目	2013年12月期 (2013年12月31日現在)	2014年12月期 (2014年12月31日現在)	増減
	流 動 資 産	(2, 285, 942)	(2, 391, 933)	(105, 991)
	現金及び現金同等物	788, 909	844, 580	55, 671
3/5-4	短期投資	47, 914	71, 863	23, 949
資	売 上 債 権	608, 741	625, 675	16, 934
	たな卸資産	553, 773	528, 167	$\triangle 25,606$
産	前払費用及びその他の流動資産	286, 605	321, 648	35, 043
	固定資産	(1, 956, 768)	(2,068,685)	(111, 917)
の	長期債権	19, 276	29, 785	10, 509
	投 資	70, 358	65, 176	△5, 182
部	有形固定資産	1, 278, 730	1, 269, 529	△9, 201
	無形固定資産	145, 075	177, 288	32, 213
	その他の資産	443, 329	526, 907	83, 578
	資産合計	4, 242, 710	4, 460, 618	217, 908
	流 動 負 債	(848, 307)	(921, 379)	(73, 072)
負	短 期 借 入 金 及 び 1 年 以 内 に 返 済 す る 長 期 債 務	1, 299	1,018	△281
	買入債務	307, 157	310, 214	3, 057
債	未 払 法 人 税 等	53, 196	57, 212	4,016
貝	未 払 費 用	315, 536	345, 237	29, 701
77	その他の流動負債	171, 119	207, 698	36, 579
及	固定負債	(327, 626)	(398, 481)	(70, 855)
	長期債務	1, 448	1, 148	△300
び	未払退職及び年金費用	229, 664	280, 928	51, 264
	その他の固定負債	96, 514	116, 405	19, 891
純	負債合計	(1, 175, 933)	(1, 319, 860)	(143, 927)
	株 主 資 本	(2, 910, 262)	(2, 978, 184)	(67, 922)
資	資本金	174, 762	174, 762	-
	資本剰余金	402, 029	401, 563	△466
産	利益剰余金合計	(3, 275, 783)	(3, 384, 991)	(109, 208)
,	利 益 準 備 金	63, 091	64, 599	1, 508
の	その他の利益剰余金	3, 212, 692	3, 320, 392	107, 700
0)	その他の包括利益(損失)累計額	△80, 646	28, 286	108, 932
-t-17	自己株式	△861, 666	△1,011,418	$\triangle 149,752$
部	非 支 配 持 分	156, 515	162, 574	6, 059
	純 資 産 合 計	(3, 066, 777)	(3, 140, 758)	(73, 981)
	負債及び純資産合計	4, 242, 710	4, 460, 618	217, 908

		2013年12月31日	2014年12月31日
(注)	1.貸倒引当金	12,730	12, 122
	2.減価償却累計額	2, 383, 530	2, 519, 259
	3. その他の包括利益(損失)累計額内訳		
	為替換算調整額	1,734	144, 557
	未実現有価証券評価損益	10, 242	12, 546
	金融派生商品損益	△2, 408	$\triangle 2,603$
	年金債務調整額	$\triangle 90$, 214	\triangle 126, 214

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

【第4四半期連結会計期間】 (12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位 百万円)

科目	2013年12月 (2013年10月 1 2013年12月31	日~	2014年12月月 (2014年10月 1 2014年12月31	増減	
	金額	百分比 %	金額	百分比 %	金額
売 上 高	1, 034, 698	100.0	1, 059, 936	100.0	25, 238
売 上 原 価	546, 680	52.8	544, 922	51.4	△1,758
売 上 総 利 益	488, 018	47. 2	515, 014	48.6	26, 996
営業費用					
販売費及び一般管理費	316, 713	30. 7	334, 398	31.5	17, 685
研究開発費	77, 765	7. 5	82, 147	7.8	4, 382
合 計	394, 478	38. 2	416, 545	39.3	22, 067
営業利益	93, 540	9. 0	98, 469	9.3	4, 929
営業外収益及び費用					
受取利息及び配当金	2, 340		2, 157		△183
支 払 利 息	△193		△140		53
その他一純額	4,738		6, 423		1, 685
合 計	6, 885	0.7	8, 440	0.8	1, 555
税引前四半期純利益	100, 425	9. 7	106, 909	10.1	6, 484
法 人 税 等	32, 103	3. 1	34, 594	3.3	2, 491
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	68, 322	6. 6	72, 315	6.8	3, 993
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	4,070	0.4	4, 225	0.4	155
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	64, 252	6. 2	68, 090	6. 4	3, 838

【第4四半期連結累計期間】 (12月31日に終了した12ヶ月間) (単位 百万円)

【第4四十朔建福系計朔间】 (12月31日に於」した12年月间)							
科目	2013年12月期 (2013年1月1日~ 2013年12月31日)		2014年12月 (2014年1月1 2014年12月31	増減			
	金額	百分比 %	金額	百分比 %	金額		
売 上 高	3, 731, 380	100.0	3, 727, 252	100.0	△4, 128		
売 上 原 価	1, 932, 959	51.8	1, 865, 780	50. 1	△67, 179		
売 上 総 利 益	1, 798, 421	48. 2	1, 861, 472	49. 9	63, 051		
営業費用							
販売費及び一般管理費	1, 154, 820	31.0	1, 189, 004	31.8	34, 184		
研究開発費	306, 324	8. 2	308, 979	8.3	2, 655		
合 計	1, 461, 144	39. 2	1, 497, 983	40. 1	36, 839		
営業利益	337, 277	9.0	363, 489	9.8	26, 212		
営業外収益及び費用							
受取利息及び配当金	6, 579		7, 906		1, 327		
支 払 利 息	△550		△500		50		
その他一純額	4, 298		12, 344		8,046		
合 計	10, 327	0.3	19, 750	0.5	9, 423		
税 引 前 当 期 純 利 益	347, 604	9. 3	383, 239	10.3	35, 635		
法 人 税 等	108, 088	2. 9	118,000	3. 2	9, 912		
非 支 配 持 分 控 除 前 当 期 純 利 益	239, 516	6. 4	265, 239	7. 1	25, 723		
非支配持分帰属損益	9, 033	0.2	10, 442	0.3	1, 409		
当 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	230, 483	6. 2	254, 797	6.8	24, 314		

(連結包括利益計算書) 【第4四半期連結会計期間】

(12月31日に終了した3ヶ月間)

【粉·百一别是相云时别时】 (12月51日	(こが 1 した 0 7 71 同)	(<u> 中世 ログロル</u>
科目	2013年12月期 (2013年10月1日〜 2013年12月31日)	2014年12月期 (2014年10月 1 日~ 2014年12月31日)	増減
	金額	金額	金額
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	68, 322	72, 315	3, 993
その他の包括利益(損失) - 税効果調整後			
為 替 換 算 調 整 額	109, 297	120, 573	11, 276
未実現有価証券評価損益	2, 700	1,879	△821
金融派生商品損益	△2, 384	$\triangle 1,569$	815
年金債務調整額	29, 850	△50, 765	△80, 615
合 計	139, 463	70, 118	△69, 345
四半期包括利益	207, 785	142, 433	△65, 352
非支配持分帰属四半期包括利益	7, 892	3, 127	△4, 765
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 包 括 利 益	199, 893	139, 306	△60, 587

【第4四半期連結累計期間】 (12月31日に終了した12ヶ月間) (単位						
科目	2013年12月期 (2013年1月1日~ 2013年12月31日)	2014年12月期 (2014年1月1日〜 2014年12月31日)	増減			
	金額	金額	金 額			
非支配持分控除前当期純利益	239, 516	265, 239	25, 723			
その他の包括利益(損失) - 税効果調整後						
為 替 換 算 調 整 額	251, 576	143, 834	$\triangle 107,742$			
未実現有価証券評価損益	6, 612	2, 524	△4, 088			
金融派生商品損益	2, 056	△195	$\triangle 2,251$			
年金債務調整額	32, 669	$\triangle 37,985$	△70, 654			
合 計	292, 913	108, 178	△184, 735			
当期包括利益	532, 429	373, 417	△159, 012			
非支配持分帰属当期包括利益	14, 688	9, 666	△5,022			
当 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 包 括 利 益	517, 741	363, 751	△153, 990			

(3) 連結売上高明細表

【第4四半期連結会計期間】 (12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位 百万円)

区分	2013年12月期 (2013年10月1日~ 2013年12月31日)		2014年12) (2014年10月 2014年12月	2014年12月期 2013年12月期	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	%
オフィス	521, 970	50.4	564, 813	53.3	108. 2
イメージングシステム	416, 181	40.2	402, 165	37.9	96. 6
産業機器その他	118, 781	11.5	116, 695	11.0	98. 2
消 去	△22, 234	△2. 1	$\triangle 23,737$	$\triangle 2.2$	_
合 計	1, 034, 698	100.0	1, 059, 936	100.0	102.4
国 内	212, 523	20.5	207, 754	19.6	97.8
海 外	822, 175	79. 5	852, 182	80.4	103.6
米 州	287, 740	27.8	309, 855	29. 2	107.7
欧 州	319, 667	30.9	312, 375	29. 5	97. 7
アジア・オセアニア	214, 768	20.8	229, 952	21.7	107. 1

【第4四半期連結累計期間】

(12月31日に終了した12ヶ月間)

(単位 百万円)

区分	2013年12月期 (2013年1月1日~ 2013年12月31日)		2014年12) (2014年1月 2014年12月	2014年12月期 2013年12月期	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	%
オフィス	2, 000, 073	53.6	2, 078, 732	55.8	103. 9
イメージングシステム	1, 448, 938	38.8	1, 343, 194	36.0	92. 7
産業機器その他	374, 870	10.0	398, 765	10.7	106. 4
消 去	△92, 501	△2. 4	△93, 439	$\triangle 2.5$	_
合 計	3, 731, 380	100.0	3, 727, 252	100.0	99. 9
国 内	715, 863	19. 2	724, 317	19. 4	101. 2
海 外	3, 015, 517	80.8	3, 002, 935	80.6	99. 6
米 州	1, 059, 501	28. 4	1, 036, 500	27.8	97.8
欧 州	1, 124, 929	30. 1	1, 090, 484	29.3	96. 9
アジア・オセアニア	831, 087	22.3	875, 951	23.5	105. 4

(注) 1. 事業の種類別セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

オフィスビジネスユニット:

オフィス向け複合機、レーザー複合機、レーザープリンター、デジタルプロダクションプリンティングシステム、業務用高速・連帳プリンター、ワイドフォーマットプリンター、ドキュメントソリューション

イメージングシステムビジネスユニット:

レンズ交換式デジタルカメラ、コンパクトデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、デジタルシネマカメラ、 交換レンズ、インクジェットプリンター、大判インクジェットプリンター、業務用フォトプリンター、 イメージスキャナー、マルチメディアプロジェクター、放送機器、電卓

産業機器その他ビジネスユニット:

半導体露光装置、FPD露光装置、デジタルラジオグラフィ、眼科機器、真空薄膜形成装置、 有機ELディスプレイ製造装置、ダイボンダー、マイクロモーター、ネットワークカメラ、ハンディターミナル、 ドキュメントスキャナー

2. 地域の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

米 州:米国、カナダ、中南米諸国

欧州:イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、欧州諸国、アフリカ・中近東諸国

アジア・オセアニア:中国、アジア諸国、オーストラリア

(4)連結資本勘定計算書 (単位 百万円)

			利益剰余金							
	資本金	資本 剰余金	利益準備金	その他の 利益剰余金	利益剰余金 合計	その他の包括利益(損失)累計額	自己株式	株主資本	非支配持分	・ 純資産合計
2013年12月期										
(2013年1月1日~2013年12月31日)										
2012年12月31日現在残高	174,762	401,547	61,663	3,138,976	3,200,639	△367,249	△811,673	2,598,026	156,276	2,754,302
非支配持分との資本取引及びその他		489		295	295	△655		129	△11,182	△11,053
当社株主への配当金				△155,627	△155,627			△155,627		△155,627
非支配持分への配当金									△3,267	△3,267
利益準備金への振替			1,428	△1,428	_			_		_
包括利益										
当期純利益				230,483	230,483			230,483	9,033	239,516
その他の包括利益				200,100	200,100			200,100	,,,,,	200,010
-税効果調整後										
為替換算調整額						249,791		249,791	1,785	251,576
未実現有価証券評価損益						6,097		6,097		
金融派生商品損益						2,056		2,056		2,056
年金債務調整額						29,314		29,314	3,355	
当期包括利益								517,741	14,688	532,429
自己株式取得-純額		△7		△7	△7		△49,993	△50,007		△50,007
2013年12月31日現在残高	174,762	402,029	63,091	3,212,692	3,275,783	△80,646	△861,666	2,910,262	156,515	3,066,777
2014年12月期										
(2014年1月1日~2014年12月31日)										
2013年12月31日現在残高	174,762	402,029	63,091	3,212,692	3,275,783	△80,646	△861,666	2,910,262	156,515	3,066,777
非支配持分との資本取引及びその他		△420		916	216	△22		A 226	△658	A 004
新文配付分との資本取引及Uその他 当社株主への配当金		△420		216 $\triangle 145,790$	216 $\triangle 145,790$	△∠∠		$\triangle 226$ $\triangle 145,790$		$\triangle 884$ $\triangle 145,790$
非支配持分への配当金				△110,130	2110,130			∆110,130	△2,949	
利益準備金への振替			1,508	△1,508	-			-		
包括利益										
当期純利益				254,797	254,797			254,797	10,442	265,239
その他の包括利益(損失)										
-税効果調整後										
為替換算調整額						142,813		142,813		
未実現有価証券評価損益 金融派生商品損益						2,301 △195		2,301 △195	223	
金融/// 全間的損益 年金債務調整額						△35,965		△195 △35,965		△195 △37,985
当期包括利益						△55,305		363,751	9,666	1
								,:01	-,-00	,
自己株式取得一純額		△46		△15	△15		△149,752	△149,813		△149,813
2014年12月31日現在残高	174,762	401,563	64,599	3,320,392	3,384,991	28.286	△1,011,418	2,978,184	162,574	3,140,758

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

	2013年12月期 (2013年1月1日~ 2013年12月31日)	2014年12月期 (2014年1月1日~ 2014年12月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
非支配持分控除前当期純利益	239, 516	265, 239
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	275, 173	263, 480
固定資産売廃却損	10, 638	12, 429
法人税等繰延税額	16, 791	8, 929
売上債権の減少	45, 040	9, 323
たな卸資産の減少	85, 577	59, 004
買入債務の減少	△108, 622	△24, 620
未払法人税等の増加(△減少)	△9, 432	3, 586
未払費用の増加(△減少)	△15, 635	11, 124
未払(前払)退職及び年金費用の減少	△15, 568	$\triangle 6,305$
その他-純額	△15, 836	△18, 262
営業活動によるキャッシュ・フロー	507, 642	583, 927
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産購入額	△233, 175	$\triangle 218,362$
固定資産売却額	1, 763	3, 994
売却可能有価証券購入額	△5, 771	△311
売却可能有価証券売却額及び償還額	4, 528	2, 606
定期預金の増加-純額	△12, 483	$\triangle 14,223$
子会社買収額(取得現金控除後)	△4, 914	$\triangle 54,772$
投資による支払額	△296	_
その他-純額	136	11,770
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250, 212	△269, 298
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期債務による調達額	1, 483	1, 377
長期債務の返済額	$\triangle 2,334$	$\triangle 2, 152$
短期借入金の減少ー純額	△547	△54
配当金の支払額	△155, 627	$\triangle 145,790$
自己株式取得一純額	△50 , 007	△149, 813
その他ー純額	△15, 149	△ 4, 454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222, 181	△300, 886
為替変動の現金及び現金同等物への影響額	86, 982	41, 928
現金及び現金同等物の純増減額	122, 231	55, 671
現金及び現金同等物の期首残高	666, 678	788, 909
現金及び現金同等物の期末残高	788, 909	844, 580

(6)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(7) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

【第4四半期連結会計期間】 (12月31日に終了した3ヶ月間)

【	計判 12月31日に	.終亅した3ケノ	月 削 <i>)</i>		(単位 自力円)		
		2013年12 (2013年10月 2013年12月	1日~	2014年12 (2014年10月 2014年12月	1日~	増減	
		金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)
オフィス	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	521, 283		564, 349		43, 066	8.3
	2)セグメント間	687		464		△223	△32.5
	計	521, 970	100.0	564, 813	100.0	42, 843	8.2
	2. 売上原価及び営業費用	458, 419	87. 8	491, 224	87. 0	32, 805	7. 2
	営業利益	63, 551	12. 2	73, 589	13. 0	10, 038	15.8
イメージングシステム	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	416, 003		401, 958		△14, 045	△3.4
	2)セグメント間	178		207		29	16. 3
	計	416, 181	100.0	402, 165	100.0	△14, 016	△3.4
	2. 売上原価及び営業費用	354, 085	85. 1	343, 898	85. 5	△10, 187	△2.9
	営業利益	62, 096	14. 9	58, 267	14. 5	△3,829	△6.2
産業機器	1. 売上高						
その他	1)外部顧客向け	97, 412		93, 629		△3, 783	△3.9
	2)セグメント間	21, 369		23, 066		1, 697	7. 9
	計	118, 781	100.0	116, 695	100.0	△2, 086	△1.8
	2. 売上原価及び営業費用	122, 608	103. 2	123, 436	105.8	828	0.7
	営業利益	△3,827	△3. 2	△6, 741	△5.8	△2, 914	_
消去	1. 売上高						
又は全社	1)外部顧客向け	_		_		_	_
	2)セグメント間	\triangle 22, 234		△23, 737		$\triangle 1,503$	_
	計	△22, 234	_	△23, 737	_	△1,503	_
	2. 売上原価及び営業費用	6,046	_	2, 909	_	△3, 137	_
	営業利益	△28, 280	_	△26, 646	_	1,634	_
連結	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	1, 034, 698		1, 059, 936		25, 238	2. 4
	2)セグメント間	_		_		_	_
	計	1, 034, 698	100. 0	1, 059, 936	100. 0	25, 238	2. 4
	2. 売上原価及び営業費用	941, 158	91.0	961, 467	90. 7	20, 309	2. 2
	営業利益	93, 540	9. 0	98, 469	9. 3	4, 929	5.3

【第4四半期連結累計期間】 (12月3]

(12月31日に終了した12ヶ月間)

		2013年12 (2013年1月 2013年12月	1日~	2014年12 (2014年1月 2014年12月	1日~	増減	或
		金額	(%)	金 額	(%)	金 額	(%)
オフィス	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	1, 993, 898		2, 075, 788		81, 890	4. 1
	2)セグメント間	6, 175		2, 944		△3, 231	△52.3
	計	2, 000, 073	100. 0	2, 078, 732	100.0	78, 659	3.9
	2. 売上原価及び営業費用	1, 733, 165	86. 7	1, 786, 675	86. 0	53, 510	3. 1
	営業利益	266, 908	13. 3	292, 057	14. 0	25, 149	9.4
	3. 総資産	954, 803		1, 025, 499		70, 696	7.4
	4. 減価償却費	88, 344		87, 058		△1, 286	△1.5
	5. 資本的支出	54, 644		69, 704		15, 060	27.6
イメージングシステム	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	1, 448, 186		1, 342, 501		△105, 685	△7.3
	2)セグメント間	752		693		△59	△7.8
	計	1, 448, 938	100. 0	1, 343, 194	100.0	△105, 744	△7. 3
	2. 売上原価及び営業費用	1, 245, 144	85. 9	1, 148, 593	85. 5	△96, 551	△7.8
	営業利益	203, 794	14. 1	194, 601	14. 5	△9, 193	△4.5
	3. 総資産	584, 856		517, 524		△67, 332	△11.5
	4. 減価償却費	56, 564		53, 912		$\triangle 2,652$	△4. 7
	5. 資本的支出	44, 112		31, 124		△12, 988	△29. 4
産業機器	1. 売上高	,		,			
その他	1)外部顧客向け	289, 296		308, 963		19, 667	6.8
	2)セグメント間	85, 574		89, 802		4, 228	4. 9
	計	374, 870	100. 0	398, 765	100. 0	23, 895	6. 4
	2. 売上原価及び営業費用	400, 201	106. 8	420, 566	105. 5	20, 365	5. 1
	営業利益	△25, 331	△6.8	△21, 801	△5. 5	3, 530	_
	3. 総資産	328, 202		342, 695		14, 493	4. 4
	4. 減価償却費	37, 072		37, 544		472	1. 3
	5. 資本的支出	27, 040		15, 976		△11, 064	△40. 9
消去	1. 売上高	21, 010		10,010			
又は全社	1)外部顧客向け	_		_		_	_
) (10.11 <u>1</u> 1	2) セグメント間	△92, 501		△93, 439		△938	_
	計	<u></u>		<u></u>		△938	
	2. 売上原価及び営業費用	15, 593	_	7, 929	_	△7, 664	_
	営業利益	△108, 094	_	△101, 368	_	6, 726	_
	3. 総資産	2, 374, 849		2, 574, 900		200, 051	8. 4
	4. 減価償却費	93, 193		84, 966		∆8, 227	△8.8
	5. 資本的支出	101, 682		107, 956		6, 274	6. 2
 連 結	1. 売上高	101, 002		101, 000		0,211	0.2
~ <u> </u>	1)外部顧客向け	3, 731, 380		3, 727, 252		△4, 128	△0. 1
	2)セグメント間						
	計	3, 731, 380	100. 0	3, 727, 252	100. 0	△4, 128	△0.1
	2. 売上原価及び営業費用	3, 394, 103	91. 0	3, 363, 763	90. 2	△4, 128 △30, 340	△0. 1
	営業利益	337, 277	91.0		90. 2		7.8
	3. 総資産	4, 242, 710	9. U	363, 489 4, 460, 618	9. 8	26, 212 217, 908	5. 1
	4. 減価償却費	275, 173		263, 480		$\triangle 11,693$	$\triangle 4.2$
	5. 資本的支出	227, 478		224, 760		△2, 718	$\triangle 1.2$

② 所在地別セグメント情報

【第4四半期連結会計期間】 (12月31日に終了した3ヶ月間)

1994四十	- 朔理福云計朔间』 (1	2月31日に於亅	したりクカ	FJ <i> </i>		- (単位 日刀円)			
		2013年12 (2013年10月 2013年12月	1日~	2014年12 (2014年10月 2014年12月	1日~	増減			
		金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)		
日 本	1. 売上高								
	1)外部顧客向け	246, 242		232, 313		△13, 929	△5. 7		
	2)セグメント間	457, 411		472, 681		15, 270	3. 3		
	計	703, 653	100.0	704, 994	100.0	1, 341	0. 2		
	2. 売上原価及び営業費用	614, 352	87.3	614, 103	87. 1	△249	0.0		
	営業利益	89, 301	12.7	90, 891	12. 9	1, 590	1.8		
米 州	1. 売上高								
	1)外部顧客向け	287, 576		308, 536		20, 960	7. 3		
	2)セグメント間	3, 191		3, 541		350	11.0		
	計	290, 767	100.0	312, 077	100.0	21, 310	7. 3		
	2. 売上原価及び営業費用	286, 926	98. 7	303, 655	97. 3	16, 729	5. 8		
	営業利益	3, 841	1.3	8, 422	2. 7	4, 581	119. 3		
欧 州	1. 売上高								
	1) 外部顧客向け	319, 384		311, 270		△8, 114	$\triangle 2.5$		
	2)セグメント間	13, 431		18, 591		5, 160	38. 4		
	計	332, 815	100.0	329, 861	100.0	△2, 954	△0. 9		
	2. 売上原価及び営業費用	321, 495	96.6	320, 771	97. 2	△724	△0. 2		
	営業利益	11, 320	3.4	9,090	2.8	△2, 230	△19. 7		
アジア・	1. 売上高								
オセアニア	1)外部顧客向け	181, 496		207, 817		26, 321	14. 5		
	2)セグメント間	219, 181		220, 317		1, 136	0. 5		
	計	400, 677	100.0	428, 134	100.0	27, 457	6. 9		
	2. 売上原価及び営業費用	393, 538	98. 2	416, 437	97. 3	22, 899	5. 8		
	営業利益	7, 139	1.8	11, 697	2.7	4, 558	63.8		
消去	1. 売上高								
又は全社	1)外部顧客向け	_		_		_	_		
	2)セグメント間	△693, 214		△715, 130		$\triangle 21,916$	_		
	=	△693, 214	_	△715, 130	_	△21, 916	_		
	2. 売上原価及び営業費用	△675, 153	_	△693, 499		△18, 346	_		
	営業利益	△18,061	_	△21,631	_	△3, 570	_		
連結	1. 売上高								
	1)外部顧客向け	1, 034, 698		1, 059, 936		25, 238	2. 4		
	2) セグメント間	<u> </u>				<u> </u>	<u> </u>		
	計	1, 034, 698	100.0	1, 059, 936	100.0	25, 238	2. 4		
	2. 売上原価及び営業費用	941, 158	91.0	961, 467	90. 7	20, 309	2. 2		
	営業利益	93, 540	9. 0	98, 469	9. 3	4, 929	5. 3		

⁽注) 国又は地域の区分方法は地域的近接度によっております。

【第4四半期連結累計期間】 (12月31日に終了した12ヶ月間)

- 【男4四干	朔連結累計期間】 (12	2月31日に終了	した12ケ月	月] /	-	(早1)	(百万円)
		2013年12 (2013年1月 2013年12月	1日~	2014年12月 (2014年1月 2014年12月3	1 日~	増り	咸
		金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)
日 本	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	797, 501		836, 801		39, 300	4.9
	2)セグメント間	1, 855, 181		1, 752, 378		△102, 803	△5. 5
	計	2, 652, 682	100.0	2, 589, 179	100.0	△63, 503	$\triangle 2.4$
	2. 売上原価及び営業費用	2, 326, 351	87. 7	2, 245, 930	86. 7	△80, 421	$\triangle 3.5$
	営業利益	326, 331	12. 3	343, 249	13. 3	16, 918	5. 2
	3. 総資産	1, 152, 398		1, 134, 484		△17, 914	△1.6
米 州	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	1, 056, 096		1, 033, 797		△22, 299	$\triangle 2.1$
	2)セグメント間	11, 774		8, 738		△3, 036	△25.8
	計	1, 067, 870	100. 0	1, 042, 535	100.0	△25, 335	△2.4
	2. 売上原価及び営業費用	1, 043, 487	97. 7	1, 018, 661	97.7	△24, 826	$\triangle 2.4$
	営業利益	24, 383	2. 3	23, 874	2.3	△509	$\triangle 2.1$
	3. 総資産	447, 039		531, 122		84, 083	18.8
欧 州	1. 売上高			·			
	1)外部顧客向け	1, 124, 603		1, 088, 293		△36, 310	$\triangle 3.2$
	2)セグメント間	53, 281		59, 493		6, 212	11.7
	計	1, 177, 884	100. 0	1, 147, 786	100.0	△30, 098	△2.6
	2. 売上原価及び営業費用	1, 171, 357	99. 4	1, 135, 515	98. 9	△35, 842	△3.1
	営業利益	6, 527	0.6	12, 271	1. 1	5, 744	88.0
	3. 総資産	496, 549		484, 858		△11, 691	$\triangle 2.4$
アジア・	1. 売上高						
オセアニア	1)外部顧客向け	753, 180		768, 361		15, 181	2.0
	2)セグメント間	881, 765		821, 600		△60, 165	△6.8
	計	1, 634, 945	100. 0	1, 589, 961	100.0	△44, 984	△2.8
	2. 売上原価及び営業費用	1, 574, 125	96. 3	1, 522, 244	95. 7	△51,881	△3.3
	営業利益	60,820	3. 7	67, 717	4.3	6, 897	11. 3
	3. 総資産	631, 827		674, 672		42, 845	6.8
消去	1. 売上高						
又は全社	1)外部顧客向け	_		_		_	_
	2)セグメント間	△2, 802, 001		$\triangle 2,642,209$		159, 792	_
	計	△2, 802, 001	-	$\triangle 2,642,209$	_	159, 792	_
	2. 売上原価及び営業費用	$\triangle 2,721,217$	-	$\triangle 2, 558, 587$	_	162, 630	_
	営業利益	△80, 784	-	△83, 622	_	△2,838	_
	3. 総資産	1, 514, 897		1, 635, 482		120, 585	_
連結	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	3, 731, 380		3, 727, 252		△4, 128	$\triangle 0.1$
	2)セグメント間	_		_		_	_
	計	3, 731, 380	100. 0	3, 727, 252	100.0	△4, 128	△0. 1
	2. 売上原価及び営業費用	3, 394, 103	91. 0	3, 363, 763	90. 2	△30, 340	△0.9
	営業利益	337, 277	9. 0	363, 489	9.8	26, 212	7.8
	3. 総資産	4, 242, 710		4, 460, 618		217, 908	5. 1

⁽注) 国又は地域の区分方法は地域的近接度によっております。

(8) 連結財務諸表作成の基本となる重要な事項

①連結範囲及び持分法の適用に関する事項

1. 連結子会社及び持分法適用関連会社の数

			_	_		2013年12月期 (2013年12月31日現在)	2014年12月期 (2014年12月31日現在)	増 減
連	結	子	会	社	数	257	261	4
持	分 法	適用	関 連	会 社	数	11	7	$\triangle 4$
合					計	268	268	_

2. 異動状況

連結子会社新規: 24社除外: 20社持分法適用関連会社除外: 4社

3. 連結子会社のうち、国内の証券市場に上場している会社 東証第一部:キャノンマーケティングジャパン㈱、キャノン電子㈱

②主要な会計方針

当社の連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成されております。

(9) 連結財務諸表に関する注記事項

①1株当たり情報		(単位 百万円)
	2013年12月期	2014年12月期
当社株主に帰属する当期純利益	230, 483	254, 797
希薄化後当社株主に帰属する当期純利益	230, 483	254, 797
		(単位 株式数)
平均発行済普通株式数	1, 147, 933, 835	1, 112, 509, 931
希薄化後発行済普通株式数	1, 147, 942, 301	1, 112, 514, 324

1株当たり当社株主に帰属する当期純利益		(単位 円)
基本的	200.78	229. 03
希薄化後	200.78	229. 03

②リース取引、税効果会計、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストックオプション、企業結合等 決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。

③重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表(1)貸借対照表

(単位:百万円)

		(単位:自力円)
	2013年12月期 (2013年12月31日現在)	2014年12月期 (2014年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,074,602	1, 024, 511
現金及び預金	34, 054	34, 362
受取手形及び売掛金	582, 012	596, 293
有価証券	100,660	54, 740
たな卸資産	166, 244	151, 272
製品	91, 423	74, 751
仕掛品	68, 901	69, 487
原材料及び貯蔵品	5, 920	7,034
その他	191, 698	187, 930
貸倒引当金	$\triangle 66$	△86
固定資産	1, 311, 290	1, 291, 169
有形固定資産	685, 526	666, 588
無形固定資産	30, 955	31, 152
投資その他の資産	594, 809	593, 429
投資有価証券	44, 244	34, 306
関係会社株式及び出資金	496, 195	498, 782
その他	54, 446	60, 414
貸倒引当金	△76	△73
資産合計	2, 385, 892	2, 315, 680
負債の部		2, 010, 000
流動負債	776, 965	828, 622
支払手形及び買掛金	302, 068	291, 693
短期借入金	322, 653	365, 441
未払法人税等	32, 285	32, 028
製品保証引当金	1, 487	2, 622
賞与引当金	4, 549	4, 476
役員賞与引当金	206	199
その他	113, 717	132, 163
固定負債	41, 897	39, 736
退職給付引当金	35, 044	34, 690
環境対策引当金	3, 437	2,075
永年勤続慰労引当金	1,442	1, 304
その他	1,974	1, 667
負債合計	818, 862	868, 358
純資産の部		,
株主資本	1, 558, 754	1, 438, 668
資本金	174, 762	174, 762
資本剰余金	306, 288	306, 288
資本準備金	306, 288	306, 288
利益剰余金	1, 939, 370	1, 969, 036
利益準備金	22, 114	22, 114
その他利益剰余金	1, 917, 256	1, 946, 922
特別償却準備金	294	341
固定資産圧縮積立金	3, 369	3, 693
別途積立金	1, 249, 928	1, 249, 928
繰越利益剰余金	663, 665	692, 960
自己株式	△861, 666	$\triangle 1,011,418$
評価・換算差額等	5, 888	7, 101
その他有価証券評価差額金	7, 239	7, 780
繰延ヘッジ損益	△1, 351	1, 780 △679
新株予約権	2, 388	1, 553
純資産合計		
	1,567,030	1, 447, 322
負債純資産合計	2, 385, 892	2, 315, 680

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

		(平匹・日万11)
	2013年12月期 (2013年1月1日~ 2013年12月31日)	2014年12月期 (2014年1月1日~ 2014年12月31日)
売上高	2, 152, 743	2, 084, 200
売上原価	1, 510, 014	1, 441, 204
売上総利益	642, 729	642, 996
販売費及び一般管理費	430, 293	438, 059
営業利益	212, 436	204, 937
営業外収益	63, 038	77, 471
受取利息	959	734
受取配当金	18, 495	36, 103
受取賃貸料	35, 564	30, 595
為替差益	259	3, 237
雑収益	7, 761	6, 802
営業外費用	38, 779	33, 060
支払利息	1,659	1, 687
貸与資産減価償却費	32, 556	27, 961
雑損失	4, 564	3, 412
経常利益	236, 695	249, 348
特別利益	266	3, 341
固定資産売却益	178	226
投資有価証券売却益	28	2, 327
新株予約権戻入益	60	788
特別損失	1, 568	10, 667
固定資産売廃却損	1, 568	1, 935
関係会社清算損	_	466
関係会社株式評価損		8, 266
税引前当期純利益	235, 393	242, 022
法人税、住民税及び事業税	62, 366	61, 762
法人税等調整額	2,644	4, 789
当期純利益	170, 383	175, 471

(3) 株主資本変動計算書 2013年12月期(2013年1月1日~2013年12月31日)

(単位:百万円)

												(単位	: 自力円)
					株主資本					評価・換算差額等			
		資本剰余金			利益剰余金								(1)
	資本金	資本準備金	利益準備金		その他利	益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッジ 損益	新株予約権	純資産合計
			具本中開並	利益学開立	特別償却 準備金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	174, 762	306, 288	22, 114	434	3, 089	1, 249, 928	649, 056	△811, 673	1, 593, 998	699	△2, 368	2, 359	1, 594, 688
当期変動額													
特別償却準備金の積立									_				_
特別償却準備金の取崩				△140			140		-				_
固定資産圧縮積立金の積立					386		△386		_				_
固定資産圧縮積立金の取崩					△106		106		-				-
剰余金の配当							△155, 627		△155, 627				△155, 627
当期純利益							170, 383		170, 383				170, 383
自己株式の取得								△50, 043	△50, 043				△50, 043
自己株式の処分							△7	50	43				43
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)									_	6, 540	1, 017	29	7, 586
当期変動額合計	_	-	_	△140	280	_	14, 609	△49, 993	△35, 244	6, 540	1,017	29	△27, 658
当期末残高	174, 762	306, 288	22, 114	294	3, 369	1, 249, 928	663, 665	△861,666	1, 558, 754	7, 239	△1,351	2, 388	1, 567, 030

2014年12月期 (2014年1月1日~2014年12月31日)

(単位:百万円)

												(1-1-	. 日刀口/				
		•			株主資本	Z		•		評価・換算差額等		·					
		資本剰余金			利益剰余金							新株予約権	At Warte A ski				
	資本金	30° 11 386 686 A	利益準備金		その他利	益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッジ 損益	新休丁·利惟	純資産合計				
						資本準備金	利益準備金	特別償却 準備金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金						
当期首残高	174, 762	306, 288	22, 114	294	3, 369	1, 249, 928	663, 665	△861, 666	1, 558, 754	7, 239	△1,351	2, 388	1, 567, 030				
当期変動額																	
特別償却準備金の積立				148			△148		-				-				
特別償却準備金の取崩				△101			101		-				-				
固定資産圧縮積立金の積立					443		△443		-				-				
固定資産圧縮積立金の取崩					△119		119		-				-				
剰余金の配当							△145, 790		△145, 790				△145, 790				
当期純利益							175, 471		175, 471				175, 471				
自己株式の取得								△150, 039	△150, 039				△150, 039				
自己株式の処分							△15	287	272				272				
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			·		·	·			-	541	672	△835	378				
当期変動額合計	_	-	_	47	324		29, 295	△149, 752	△120, 086	541	672	△835	△119, 708				
当期末残高	174, 762	306, 288	22, 114	341	3, 693	1, 249, 928	692, 960	△1,011,418	1, 438, 668	7, 780	△679	1, 553	1, 447, 322				

(4)継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

役員の異動

<2015年3月27日付>

(1) 昇格予定取締役

常務取締役 谷 泰弘 (現 取締役 デジタルシステム開発本部長)

(2) 新任取締役候補

中村 正陽 (現 執行役員 人事本部 副本部長)

(3) 退任予定取締役

代表取締役副社長 生駒 俊明 (当社特別顧問に就任予定) 専務取締役 三橋 康夫 (当社顧問に就任予定)

大野 和人 (当社常勤監査役に就任予定) 取締役

(4) 新任監査役候補

常勤監査役 大野 和人 (現 取締役 企画本部長)

(5) 退任予定監査役

常勤監査役 浦元 献吾 (当社顧問に就任予定)

以上

執行役員の異動

(1) 新任執行役員候補

<2015年4月1日付>

中舛 貴信 (キヤノンオーストラリア社長)

平松 壮一 (調達本部 副本部長)

楠元 俊彦 (映像事務機事業本部 副事業本部長)

井上 俊輔 (デバイス開発本部 副本部長)

宮本 厳恭 (周辺機器事業本部 副事業本部長)

田中 朗子 (キヤノン USA Sr.Director/Corporate Planning Div.)

(2) 退任予定執行役員

<2015年3月27日付>

中村 正陽 (人事本部 副本部長)

以上

2014年12月期 決算補足資料(連結)

(2014年1月1日~2014年12月31日)

目次

		頁	
1.	地域別・ビジネスユニット別売上高(2014年12月期実績)	補	1
2.	地域別・ビジネスユニット別売上高(2015年12月期予想)	補	2
3.	事業の種類別セグメント情報(2014年12月期実績)	補	3
4.	営業外収益及び費用(2014年12月期実績)	補	3
5.	事業の種類別セグメント情報(2015年12月期予想)	補	4
6.	営業外収益及び費用(2015年12月期予想)	補	4
7.	ビジネスユニット内製品別売上高構成比	補	5
8.	売上高現地通貨ベース伸び率(前年同期比較)	補	5
9.	収益性	補	6
10.	為替影響	補	6
11.	キャッシュ・フロー計算書	補	6
12.	研究開発費	補	7
13.	設備投資/減価償却費	補	7
14.	たな卸資産	補	7
15.	有利子負債依存度	補	7
16.	海外生産比率	補	7
17.	従業員数	補	7

【注意事項】

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

1. 地域別・ビジネスユニット別売上高(2014年12月期実績)

1. 地域別・ピンネスユニット)	沙龙上南(2)	114年14月	州夫限 /			単位 白カ円)
	2013年	12月期	2014年	12月期	対前年同	期増減率
	第4四半期 実績	年間実績	第4四半期 実績	年間 実績	第4四半期 実績	年間実績
国内						
オフィス	97,488	368,308	97,336	380,594	△0.2%	+3.3%
イメージングシステム	76,103	215,970	70,815	207,281	△6.9%	△4.0%
産業機器その他	38,932	131,585	39,603	136,442	+1.7%	+3.7%
合計	212,523	715,863	207,754	724,317	△2.2%	+1.2%
海外						
オフィス	423,795	1,625,590	467,013	1,695,194	+10.2%	+4.3%
イメージングシステム	339,900	1,232,216	331,143	1,135,220	△2.6%	△7.9%
産業機器その他	58,480	157,711	54,026	172,521	△7.6%	+9.4%
合計	822,175	3,015,517	852,182	3,002,935	+3.6%	△0.4%
米州						
オフィス	158,481	629,472	183,816	656,783	+16.0%	+4.3%
イメージングシステム	118,193	392,373	113,156	345,707	△4.3%	△11.9%
産業機器その他	11,066	37,656	12,883	34,010	+16.4%	△9.7%
合計	287,740	1,059,501	309,855	1,036,500	+7.7%	△2.2%
欧州						
オフィス	188,760	694,563	191,573	689,275	+1.5%	△0.8%
イメージングシステム	122,291	404,390	109,440	367,050	△10.5%	△9.2%
産業機器その他	8,616	25,976	11,362	34,159	+31.9%	+31.5%
合計	319,667	1,124,929	312,375	1,090,484	△2.3%	△3.1%
アジア・オセアニア						
オフィス	76,554	301,555	91,624	349,136	+19.7%	+15.8%
イメージングシステム	99,416	435,453	108,547	422,463	+9.2%	△3.0%
産業機器その他	38,798	94,079	29,781	104,352	△23.2%	+10.9%
合計	214,768	831,087	229,952	875,951	+7.1%	+5.4%
セグメント間の内部売上						
オフィス	687	6,175	464	2,944	△32.5%	△52.3%
イメージングシステム	178	752	207	693	+16.3%	△7.8%
産業機器その他	21,369	85,574	23,066	89,802	+7.9%	+4.9%
消去	△22,234	\triangle 92,501	△23,737	△93,439	_	-
合計	0	0	0	0	_	_
合計						
オフィス	521,970	2,000,073	564,813	2,078,732	+8.2%	+3.9%
イメージングシステム	416,181	1,448,938	402,165	1,343,194	△3.4%	△7.3%
産業機器その他	118,781	374,870	116,695	398,765	△1.8%	+6.4%
消去	△22,234	△92,501	△23,737	△93,439	-	
合計	1,034,698	3,731,380	1,059,936	3,727,252	+2.4%	△0.1%

2. 地域別・ビジネスユニット別売上高(2015年12月期予想)

(1)ビジネスユニット別売上高

(単位 百万円)

	2014年12月期	2015年12月期	対前年同期増減率
	年間実績	年間予想	年間
オフィス	2,078,732	2,177,000	+4.7%
イメージングシステム	1,343,194	1,399,000	+4.2%
産業機器その他	398,765	416,700	+4.5%
消去	△93,439	△92,700	-
合計	3,727,252	3,900,000	+4.6%

(2)地域別売上高

	2014年12月期	2015年12月期	対前年同期増減率
	年間実績	年間予想	年間
国内	724,317	729,700	+0.7%
海外	3,002,935	3,170,300	+5.6%
米州	1,036,500	1,153,900	+11.3%
欧州	1,090,484	1,041,100	△4.5%
アジア・オセアニア	875,951	975,300	+11.3%
合計	3,727,252	3,900,000	+4.6%

3. 事業の種類別セグメント情報(2014年12月期実績)

(単位 百万円)

3. 争果の性類別でクス	/ 17 月 平文(2014年	P14万	利利			単位 日万円)
	2013年	12月期	2014年	12月期	対前年同	期増減率
	第4四半期 実績	年間 実績	第4四半期 実績	年間 実績	第4四半期 実績	年間 実績
オフィス						
外部顧客に対する売上高	521,283	1,993,898	564,349	2,075,788	+8.3%	+4.1%
セグメント間の内部売上高	687	6,175	464	2,944	△32.5%	△52.3%
売上高 計	521,970	2,000,073	564,813	2,078,732	+8.2%	+3.9%
営業利益	63,551	266,908	73,589	292,057	+15.8%	+9.4%
営業利益率	12.2%	13.3%	13.0%	14.0%	-	-
イメージングシステム						
外部顧客に対する売上高	416,003	1,448,186	401,958	1,342,501	△3.4%	△7.3%
セグメント間の内部売上高	178	752	207	693	+16.3%	△7.8%
売上高 計	416,181	1,448,938	402,165	1,343,194	△3.4%	△7.3%
営業利益	62,096	203,794	58,267	194,601	△6.2%	△4.5%
営業利益率	14.9%	14.1%	14.5%	14.5%	_	-
産業機器その他						
外部顧客に対する売上高	97,412	289,296	93,629	308,963	△3.9%	+6.8%
セグメント間の内部売上高	21,369	85,574	23,066	89,802	+7.9%	+4.9%
売上高 計	118,781	374,870	116,695	398,765	△1.8%	+6.4%
営業利益	△3,827	△25,331	△6,741	△21,801	-	-
営業利益率	△3.2%	△6.8%	△5.8%	△5.5%	-	-
消去又は全社						
外部顧客に対する売上高	_	_	-	-	-	-
セグメント間の内部売上高	△22,234	△92,501	△23,737	△93,439	-	-
売上高 計	△22,234	△92,501	△23,737	△93,439	-	-
営業利益	△28,280	△108,094	△26,646	△101,368	-	-
連結						
外部顧客に対する売上高	1,034,698	3,731,380	1,059,936	3,727,252	+2.4%	$\triangle 0.1\%$
セグメント間の内部売上高	_	-	-	-	-	_
売上高 計	1,034,698	3,731,380	1,059,936	3,727,252	+2.4%	△0.1%
営業利益	93,540	337,277	98,469	363,489	+5.3%	+7.8%
営業利益率	9.0%	9.0%	9.3%	9.8%	-	-

4. 営業外収益及び費用(2014年12月期実績)

4. 日来/1-1人並入し負/11/2011年12/17/17/17/16/						(1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	2013年12月期 第4四半期 年間 実績 実績		2014年12月期		対前年同期増減	
			第4四半期 実績	年間 実績	第4四半期 実績	年間 実績
金融収支	2,147	6,029	2,017	7,406	△130	+1,377
為替差損益	· ·	△1,992	4,599	2,628	+508	+4,620
持分法投資損益		△308 △664	168 47	478 +	+476	+1,142
その他	955 6,95		1,656	9,238	+701	+2,284
合計	6,885	10,327	8,440	19,750	+1,555	+9,423

5. 事業の種類別セグメント情報(2015年12月期予想)

(単位 百万円)

3. 事業の種類がピック	2014年12月期 2015年12月期		対前年同期増減率
	年間実績	年間予想	年間
オフィス			
外部顧客に対する売上高	2,075,788	2,172,200	+4.6%
セグメント間の内部売上高	2,944	4,800	+63.0%
売上高 計	2,078,732	2,177,000	+4.7%
営業利益	292,057	307,200	+5.2%
営業利益率	14.0%	14.1%	-
イメージングシステム			
外部顧客に対する売上高	1,342,501	1,398,200	+4.1%
セグメント間の内部売上高	693	800	+15.4%
売上高 計	1,343,194	1,399,000	+4.2%
営業利益	194,601	225,400	+15.8%
営業利益率	14.5%	16.1%	-
産業機器その他			
外部顧客に対する売上高	308,963	329,600	+6.7%
セグメント間の内部売上高	89,802	87,100	△3.0%
売上高 計	398,765	416,700	+4.5%
営業利益	△21,801	△32,000	-
営業利益率	△5.5%	△7.7%	-
消去又は全社			
外部顧客に対する売上高	-	-	-
セグメント間の内部売上高	△93,439	△92,700	-
売上高 計	△93,439	△92,700	-
営業利益	△101,368	△120,600	_
外部顧客に対する売上高	3,727,252	3,900,000	+4.6%
セグメント間の内部売上高	_	-	-
売上高 計	3,727,252	3,900,000	+4.6%
営業利益	363,489	380,000	+4.5%
営業利益率	9.8%	9.7%	-

6. 営業外収益及び費用(2015年12月期予想)

4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
	2014年12月期	2015年12月期	対前年同期増減
	年間実績年間予想		年間
金融収支	7,406	3,800	△3,606
為替差損益	2,628	△4,600	△7,228
持分法投資損益	478	1,000	+522
その他	9,238	9,800	+562
合計	19,750	10,000	△9,750

7. ビジネスユニット内製品別売上高構成比

	2013年	2013年12月期		2014年12月期	
	第4四半期 実績	年間実績	第4四半期 実績	年間実績	年間 予想
オフィス					
白黒複写機	16%	16%	15%	16%	16%
カラー複写機	20%	19%	21%	19%	20%
プリンター機器	39%	42%	40%	42%	41%
その他	25%	23%	24%	23%	23%
イメージングシステム					
カメラ	65%	67%	63%	64%	64%
インクジェットプリンター	27%	25%	29%	27%	28%
その他	8%	8%	8%	9%	8%
産業機器その他					
露光装置	30%	17%	21%	23%	25%
その他	70%	83%	79%	77%	75%

8. 売上高現地通貨ベース伸び率 (前年同期比較)

	2 1 (110 1 110)	74· - D ·/	
	2014年	12月期	2015年12月期
	第4四半期 実績	年間 実績	年間 予想
オフィス			
国内	△0.2%	+3.3%	-
海外	△0.5%	△3.5%	-
合計	△0.5%	△2.4%	△1.0%
イメージングシステム			
国内	△6.9%	△4.0%	_
海外	△11.6%	△14.6%	-
合計	△10.7%	△13.1%	△1.8%
産業機器その他			
国内	+1.7%	+3.7%	_
海外	△12.4%	+5.3%	_
合計	△4.1%	+4.6%	+3.1%
合計			
国内	△2.2%	+1.2%	+0.7%
海外	△5.9%	△7.6%	△1.2%
米州	△5.7%	△9.9%	△1.3%
欧州	△7.7%	△10.3%	△3.0%
アジア・オセアニア	△3.5%	△0.9%	+1.1%
合計	△5.2%	△5.9%	△0.8%

9. 収益性

	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期
	年間 実績	年間 実績	年間 予想
株主資本純利益率(ROE) *当社株主に帰属	8.4%	8.7%	8.6%
総資本純利益率(ROA) *当社株主に帰属	5.6%	5.9%	5.8%

10. 為替影響

(1)為替レート (単位 円)

	2013年12月期		2014年12月期		2015年12月期
	第4四半期 実績	年間 実績	第4四半期 実績	年間 実績	年間 予想
円/US\$	100.50	97.84	114.78	106.18	120.00
円/Euro	136.69	130.01	143.41	140.62	135.00

(2)売上影響額(前年同期比較)

(単位 億円)

	2014年	12月期	2015年12月期
	第4四半期 実績	年間 予想	
US\$	+516	+982	+1,718
Euro	+117	+668	△399
その他通貨	+89	+210	+352
合計	+722	+1,860	+1,671

(3)1円の変動による影響額

(単位 億円)

	2015年12月期
	年間 予想
売上高への影響額	
US\$	158
Euro	65
営業利益への影響額	
US\$	57
Euro	29

11. キャッシュ・フロー計算書

				(1 = = 7414)	
	2013年12月期		2014年12月期		2015年12月期
	第4四半期 実績	年間 実績	第4四半期 実績	年間 実績	年間 予想
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,316	507,642	185,377	583,927	515,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,603	△250,212	△37,908	△269,298	△305,000
フリーキャッシュ・フロー	121,713	257,430	147,469	314,629	210,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,114	△222,181	△50,185	△300,886	△175,800
為替変動の現金及び現金同等物への影響額	36,789	86,982	39,970	41,928	△18,800
現金及び現金同等物の純増減額	148,388	122,231	137,254	55,671	15,400
現金及び現金同等物の期末残高	788,909	788,909	844,580	844,580	860,000

12. 研究開発費

(単位 百万円)

	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期
	年間実績	年間実績	年間予想
オフィス	105,246	104,391	-
イメージングシステム	84,377	87,510	-
産業機器その他	25,701	26,516	_
消去又は全社	91,000	90,562	_
	306,324	308,979	320,000
売上高研究開発費比率	8.2%	8.3%	8.2%

13. 設備投資/減価償却費

(単位 百万円)

	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期
	年間実績	年間実績	年間予想
設備投資			
オフィス	51,457	65,662	-
イメージングシステム	41,853	29,200	-
産業機器その他	25,662	13,856	-
消去又は全社	69,854	73,625	_
合計	188,826	182,343	205,000
減価償却費			
オフィス	88,344	87,058	-
イメージングシステム	56,564	53,912	-
産業機器その他	37,072	37,544	-
消去又は全社	93,193	84,966	_
合計	275,173	263,480	275,000

14. たな卸資産

(1)期末残高

(単位 百万円)

(=///////			11 1- 1
	2013年12月期	2014年12月期	増減
	12月31日現在	12月31日現在	2日195
オフィス	227,413	238,344	+10,931
イメージングシステム	221,368	168,802	△52,566
産業機器その他	104,992	121,021	+16,029
合計	553,773	528,167	△25,606

(2)回転日数

(単位 日)

	2013年12月期	2014年12月期	増減
	12月31日現在	12月31日現在	2月70天
オフィス	41	42	+1
イメージングシステム	53	43	△10
産業機器その他	115	132	+17
合計	52	50	$\triangle 2$

^{*}回転日数は、直前6ヶ月の売上高に基づいて算出しています。

15. 有利子負債依存度

10. DA11 YWW110	ζ			
		2013年12月期	2014年12月期	差異
		12月31日現在	12月31日現在	左共
有利子負債 / 総資本		0.1%	0.0%	△0.1%

16. 海外生産比率

	2013年12月期	2014年12月期	
	年間実績	年間実績	
海外生産比率	57%	60%	

17. 従業員数

(単位 人)

11. 从未只外			
	2013年12月期	2014年12月期	増減
	12月31日現在	12月31日現在	相映
国内	69,825	69,201	△624
海外	124,326	122,688	△1,638
合計	194,151	191,889	△2,262